

議事要旨(2) 基準諮問会議からの報告

冒頭、鈴木基準諮問会議副議長より、審議資料に基づき、平成28年3月4日に開催された第26回基準諮問会議において、新規テーマとして基準諮問会議に提案された項目の審議の結果及び基準諮問会議におけるその他の審議状況について説明がなされた。

説明に対する委員からの主なコメントと、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - リース会計基準の見直し検討について、企業会計基準委員会が検討することを予定している中期運営方針の中に含めるとの依頼は、新規テーマとして検討を開始するとの趣旨ではなく、中期運営方針の中に含めるかどうかを検討するとの理解で良いか。

これに対して、基準諮問会議副議長より、理解に相違はないとの回答がなされた。

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - リース会計基準の見直し検討を中期運営方針の中に含めるとの依頼に関して、基準諮問会議では、どのような意見が聞かれたか。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- 財務諸表作成者である提案者からは、IASB 及び FASB によるリース会計基準の改正の結果、日本基準を含めた三つの会計基準が並存する形で実務対応するのは多大なコストが掛かることとなるため、早急に対応を検討されたい旨の意見が聞かれたとの回答がなされた。

以 上